

# 平成22年度第2回「仙北市立病院等改革推進計画」検証市民委員会

## 議 事 録

- ◆ 日 時 平成22年12月22日(水) 13:35 ~ 14:50
- ◆ 場 所 田沢湖健康増進センター地域交流プラザ
- ◆ 出席者 【委員】委員長他8名 合計9名  
【市】市長・総務部次長・両病院事務長等・総務部政策推進課
- ◆ 検証事項 1) 市立病院の平成22年度上半期の運営状況について  
2) 仙北市立病院等改革推進計画の進捗状況について  
3) 医療局の設置と病院事業組織機構の改編(案)について  
4) その他

\*\*\*\*\*

### 1. 開会(13:35)

### 2. 市長あいさつ

第2回の改革推進計画の検証委員会ということで、大変お忙しいなかだとは思いますがどうか実りある意見等のやり取りをお願いしたいと思います。昨日12月の市議会定例会が終わりまして、様々なことをご審議いただき決めていただきました。大きかったところとして一言お話しさせていただきますと、当計画の中にもありましたが、いよいよ医療局というものを設置して出来るだけ早期に仙北市の医療環境を安定的に運営していくという仕掛けですが、この医療局の設置で本格化します。12月中は準備室というものを設けさせていただきました1月から本格的に医療局が立ち上がっていくという状況にあります。昨日の市議会でもお認めいただきました。その関係があって4月には仙北市の病院事業の管理者をお迎えする準備を進めております。長野県の飯田市立病院の名誉院長でもありましたし、全国の自治体病院協議会の副会長という大変要職を務めておいででした宮川信先生をお迎えする準備を整えました。来月にも宮川医師は仙北市に来て関係の方々と色々協議をしたいことがあるという話しもありましたし、73歳ですので多少お年を召していると思うかもしれませんが、現役バリバリの医師でありまして田沢湖病院も角館総合病院も週1回は外来診察もしたいというような話しもされていますし、また病院の経営についても大変御認識の高い方で、今までも病院の様々な改革を実際に行なってきたという方です。この方をお迎えすることが出来たということで仙北市の医療はワンランクアップするということを期待しています。この諸々の環境の整備が整いつつある状況の中で、角館総合病院の改築についてもスピードアップを図りたいということで、先頃の議会で平成26年の秋には開院したいという年度目標を設定させていただきました。なぜ26年かというと色々ありますが、実は厚生連の仙北組合病院の改築が若干26年の10月よりは早い時期に、例えば26年の春ではないかという話しもありますが開院するという話しになりまして、その環境を考えると仙北市がその時期を逸していくことは決して何も良いことはないということもあります。財源的な話しもありますが病院建設を高速に進めていきたいと考えております。その環境が出来たとご理解いただければと思います。今回の検証事項については上半期の運営状況について、また今お話しをさせていただいた推進計画の進捗状況、それから病院事業の機構改編という件についても皆様にご

説明させていただきたいと思いますので、どうかよろしくご審議お願い申し上げたいと思います。

なお大変恐縮ありますが、年末になって大変嬉しいニュースが飛び込んできて、クニマスが発見されたということでその対応について様々取扱いの業務が始まっております。そんなことがありまして今日実は自分これから新幹線で仙台に行きまして国土交通省の東北地方整備局で会議を予定しておりますので、委員長のお話しをいただいた後に座を外させていただきたいと思います。どうかご勘弁よろしくお願い申し上げます。

### **3. 委員長あいさつ**

今年も残すところ十日あまりとなりました。委員の皆さんには大変お忙しの時期だったとは思いますが、検証市民委員会の22年度の2回目のご案内をいたしましたところ、大変お忙しの中しかも悪天候の中ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また検証事項につきましては前もって印刷ものを渡してございますので目を通していただけたと思います。なお、ただ今市長も申し上げましたとおり医療局の設置と病院等改革機構の改編と大きな問題もある訳でございます。これらを今日は十二分に検証していただきまして、どうか皆さんのほうからも色々なご意見あるいはご質問等交わしていただきながら有意義な会議に進めて参りたいと思いますのでどうかよろしくお願いを申しあげたいと思います。

#### ― 市長公務のため退席 ―

#### 事務局（政策推進課）

ありがとうございました。それでは検証事項会議に入る前に資料の確認ということで、事前にお配りしておりましたが、資料の1から7まで揃ってなかった委員の方はいらっしゃいます。なお今日資料の差し替えをさせていただいています。差し替えの内容は角館総合病院の前年度上半期の実績の数字が間違っていて、関係するところを資料1と2と5につきまして差し替えさせていただいていますのでご了解いただきたいと思います。12月16日広報にも掲載しておりましたがこれも数字が間違っており1月16日号に訂正が入りますのでよろしくお願い致します。大変申し訳ありません。それと今回委員全員にご出席いただいたということで職員を改めて紹介させていただきます。

#### ― 職員紹介 ―

それでは早速検証事項に入りたいと思いますので、ここから先は委員長にお願いします。

### **4. 検証事項**

#### 委員長

委員会運営第4条の2、会議は委員の半分の出席をもって開催するとあります。本日の委員出席は全員の9名ですので委員会が成立しています。それでは検証事項に入って参りたいと思います。検証事項の1)から3)まで一括して議題とします。説明を求めます。

#### ― 資料説明（事務局：政策推進課） ―

資料1 「平成22年度上半期仙北市病院事業の総括事項」

資料2 「平成22年度上半期仙北市病院事業の実績」

資料3 「両病院上半期年次別入院・外来患者数の実績」

資料4 「両病院等上半期地区別利用者数（入院・外来）の推移」

資料5 「両病院上半期収支決算の状況（過去3年分）」

資料6 「市立病院等改革推進計画進捗状況」

資料7 「仙北市医療局設置及び病院事業組織機構（案）」

#### 委員長

事務局より検証事項について説明がありました。あとは委員の皆様からご意見あるいはご質問等いただきながら進めて参りたいと思いますので、どんなことでも結構です、一括して質疑応答にしたいと思います。

#### 委員

いつもしゃべるので今日は絶対話さないと決めてきたのですが、資料6のあとのほうで説明がありました新しく医療局のホームページを開くというのは、これは誰でもが機械に向かうと見れるものでしょうか。一般市民が。

#### 事務局（政策推進課）

仙北市もホームページを持っていて、インターネットで見れる環境であれば見れるものですのでそれと同じように考えています。今角館総合病院も田沢湖病院もそれぞれホームページを持っていますので、そこと同じようなイメージで誰でも見れるということで考えています。

#### 委員

わかりました。もう一つ、これは希望ですが、病院事業の組織機構案のところについて組織一覧がありますが、これのメンバーなのですが、患者は男性と女性がいます。色々こういう役をする中にも女性を入れてほしいです。これはここで言ってもしょうがないかもしれませんが、この会でも女性が半数います。でも地方へ行けば行くほどちょっとした大きな組織に女性の姿が見えません。これはやはりどこか変というか、男と女が世の中にいるものですからそんなに差がないものであると思いますので、まあ差はありますけれどもその差の良いところをミックスして組織に反映してほしいと思います。希望です。

#### 事務局（政策推進課）

今おっしゃられたことはごもっともでありまして、今現在は管理者がいませんので管理者の権限は市長が行なうことになっています。ただ来年の4月以降いわゆる23年度から管理者が着任しますと、人事等全てが今度管理者の権限になりますのでそのへんは管理者と医療局の組織の中で当然考えられる問題だと思いますので前向きに検討させていただきたいと思います。

#### 事務長（角館総合病院）

今のご質問に関連しますが、現在の角館総合病院事務局の職員の配置状況をお知らせしておきたいと思います。全部で事務局は総務企画課・管理課・医事課合わせて50人以上60人ぐらい働いています。そのうちの医事の部門ではその大半を委託している関係ですが、専門職なのでレセプト関係ですが、女性が何人いるかということ7割が事務部門で女性職員です。参考までに報告します。

#### 委員

わかりました。

委員長

他にありませんか。

委員

お金の回収に絡んでくると思うのですが、救急とかで行ったり入院とかした場合、最近は救急で行ってもすぐ会計が出来る場合も多いみたいですが、後から支払いに行かなければいけないというケースがやはり結構あるんですよね。近くにいる人であればそんなに問題はないのですが、やはり地域的に遠いところにいる人であればわざわざ病院のほうまで支払いに行くか、あるいは手数料等を払って振り込みにするかというかたちになろうかと思えます。対比して出すと申し訳ないですが、例えば組合病院とかだと農協の窓口を利用すれば病院の施設の関係上で手数料がかからずに窓口から振り込みが出来るんですね。思ったのは、例えば市役所の支所とかで支払の代行といいますかそういったことが出来れば結構遠いところにいる人、お年寄りの足の関係で行きにくい方でも困らずに気軽に支払いとかも出来るのではないかと思ったもので、そういったシステムとかもし出来れば非常に使い勝手もまた良くなるのではないかと思ったところですが、そのへんをどうにかあるいは別のかたちで支払いやすいようなかたちにすることが出来ればそれはそれで良いかとは思いますが、もしご検討いただけるのであればありがたいと思います。

委員長

これは角館総合病院からお答え願います。

高田事務長（角館総合病院）

救急で来られた場合、土日も平日も会計出来ますので大丈夫です。会計出来ないのは夜間です。この場合は後日支払っていただくこととなります。県外とかから来られた方にはだいたいの診察の内容によっては5,000円とか10,000円をお預かりして後で精算するかたちですが、支払いのご質問にありました件で考えられるのはカード払いです。銀行さんなんか結構病院に進められています。どこでもカードで支払うことが出来ればよろしいのではないかとの話があるのですが、手数料等の関係でなかなか踏み切れないということです。それから支所で支払い出来ないかということですが、これは十分に検討出来る余地があるかと思えます。ひとつご説明しますが、病院と水道関係は公営企業というかたちで、市のいわゆる昔の収入役、今会計管理者ですがこの方々のハンコでは徴収出来ないということになってしまっていて別枠になるんです。それで水道なんかは企業局の出納員ということで各支所に兼務辞令をだしてハンコをお願いしてあります。水道料金はどこの支所でも支払い出来ますよということをやっていますので、病院もそのようなかたちは多分採れるだろうと思えますので検討させていただきたいと思えます。ただ今までそのようなことが病院の場合に水道と違って検討されてこなかったというのは、だいたい1回か2回は病院に診察のため来るといのがごく普通なのであまり感じてこなかった面があるのかなという気もしますが、今ご質問いただきました件は十分検討させていただきたいと思えます。

委員長

それでは十分な検討をお願いしたいと思います。

委員

もし出来れば、支払う方はおそらくご年配の方が行きにくい方が多いのではないかと思うのですが、なるべく簡単な手続きで作業が出来るようにしてもらえればありがたいと思います。

事務長（角館総合病院）

あとはそういう方に電話で連絡して私どものほうで貰いに行くというようなかたちを今探っていますので、納める方が非常に利用しやすいような方法を色々と考えていきたいと思えます。

委員長

他にありませんか。

委員長職務代理者

7月9日に開かれた委員会の際に質問というか要望として出ているが、田沢湖病院には産婦人科と小児科がないということで、これは今継続してそういう要望とかやっていることだと思うのですが、これは実現に向けてきちっとした返事をいただくということは出来ないものですか。今子供が少ない少子化だと騒いでいる時に、子供は常に予断を許さない状況の患者が多いと思うんですね。ここから30分近くもかかって角館まで運ぶという時に非常にまずいというような状況になった場合、果たして誰が責任をとれるかということになれば、やはり公的な病院でそれをフォローしていくようなシステムを作らなければだめではないかと思えます。

委員長

これは田沢湖病院からお願いします。

事務長（田沢湖病院）

前回にそういったお話しをいただきましてお答えさせていただきましたが、正直言いますと小児科と産婦人科医の数が全国的に少ないと。今私どもは常勤医が三人しかいないという状況の中で、出来れば内科系の先生を厚くして、色々な、専門外来もそうですが総合内科的な何でも診れるような先生に来ていただきたいと考えているところです。もちろん小児科産婦人科の先生に来ていただければ本当に良い訳ですが、なかなか全体的に少ない先生の種類と言いますかそのような状況なものですからその辺を非常に難儀しているところです。

委員長職務代理者

わかりました。

委員長

他に何かないですか。

委員

〇〇委員さんの意見とほぼ同じで、前にもこの話しはたぶん出たと思います。ということはこれ将来的に無理という判断をされているということで理解してよろしいのでしょうか。

委員長

田沢湖病院からお願いします。

事務長（田沢湖病院）

気持ちとしてはお願いしたいところですが、現実としては非常に難しいと考えています。

事務長（角館総合病院）

委員長よろしいですか。今現在小児科を持っている角館総合病院の現状的なところを少しお話

ししますが、今小児科の開業医さんの方々も結構廃業している方が多いはずで。というのは小児科は採算がとれないのだそうです。そういう関係で開業医の方々が辞めていくと。そういうなかで我々のほうも今小児科の先生は自治医科大学の先生ですが、義務年限が今年で明けるのでたぶん4月にはどこかへ代わっていかれるということで、今大学と小児科も4月からいなくなる困るので色々と教授のほうへお願いしています。ところが大学も小児科の先生がいないということでまず常勤は無理でしょうというような話しになってきています。この前院長が再度行って教授へお願いしましたが、まず何とか週2日くらいは来ていただけるのかなと、もしかすれば複数の先生方の交代制で何とか1週間埋めればというようなかたちで今盛んにお願いしているところです。小児科に関してはそういう状態ですので非常に厳しいと思っています。これから先生方が国の施策でこちらのほうにも来るようなかたちになってくればまた話しが違ふと思いますが、現在の角館総合病院を取り巻く状況から言っても小児科に関しては非常に厳しいという感じを受けています。

#### 委員長

わかりました。他に何かありませんか。

#### 委員

今の話しですが、いずれ仙北市内に小児科医がいなくなるというのは非常に大変なことになると思います。充分ご承知おきのことだと思っておりますが、何とか頑張って踏ん張っていただきたいというお願いをするしかないのですけれども。

#### 事務長（角館総合病院）

産婦人科の先生と院長も自分たちの色々なつてを使って今盛んにお願いしています。

#### 委員

採算がとれないというのは開業医で全国的な傾向ですか。

#### 事務長（角館総合病院）

全国的に開業医さんは、やはり薬にしても大人の半分、三分の一から半分くらいでしょうから、1回診療するにしてもですね、そういうのもあるのかなと。開業医さんは辞めていっている方が多いという話しを聞きます。

#### 委員

その辞めた開業医さんを引っ張ってこれないものですか。単純に考えればそう思うのだけれども簡単にいかないだろう。

#### 事務長（田沢湖病院）

なぜ小児科とか産婦人科の先生が少なくなるかということは、やはり産婦人科でもそうなのですが24時間体制な訳です。小児科でも子供さんは夜中になれば熱が上がったり、そういうものに常に対応しなければいけないということでもう疲労困憊ですよね。なのでどんどんどんどん少なくなってくる訳です。大曲の開業医の小児科の先生の話しを聞けば、やはり子供さんはものをしゃべらない症状を伝えられないんですね。ですからそれを診察してそして治療しなければいけないというプレッシャーは凄いという話しをしていました。現状ではなかなか大変だということでした。

#### 事務局（政策推進課）

両病院の事務長の意見にプラスしてですが、色々病院なり関係機関なりを訪問してお願いしている訳ですが、その問題となっている小児科と産婦人科医というのが今言われている医療訴訟の対象にされやすい標榜科なんですね。採算性あるいは過重労働に加えて責任だけにとらせられないというような先生方の思いもあるようですので、色々な意味から今皆様方がおっしゃられている二つの標榜科については、前回田沢湖病院の事務長が回答したように全国的に小児科医産婦人科医は少なくなってきたというところはそういうところが原因ではないかと思えます。

委員長

他に何かありませんか。

委員

小児科の話題に関連してですが、昔はどこに行っても子供でも何でも診てくれたのですが、例えば田沢湖病院に子供を連れてきた時に「小児科がないから診られないです。」と言われてしまうのですか。

事務長（田沢湖病院）

ある程度のところまでは診ます。

医事係長（田沢湖病院）

ある程度のところまでは受付をした場合は一度は診るのですが、それ以降は小児科のほうへ行ってくださいということで対応しています。

委員

やはりそういうかたちなのですね。昔はみんな田沢診療所で間に合わせていたけれど。

事務長（田沢湖病院）

今まではそれで済んでいた訳ですが、先ほど言ったように何かあればすぐ訴訟とかという話しになってくるので、やはり専門にお願いしたほうが良いということです。

委員

逆に小児科がなくても行けば診てもらえるというのであればまた少しは安心出来るかなとは思いますが。声を大にしては言えないでしょうけれども。

事務長（田沢湖病院）

基本的に来られた患者さんは診ますが、専門的に診てもらったほうが良いと判断されればそちらのほうに紹介するかたちです。

委員

わかりました。それと今日発言するかどうか悩んできたのですが言ってもよろしいでしょうか。角館総合病院を建て替えるということですが、いつも聞こえてくるのが看護師さんがだんじゃく（粗暴）だとかものすごい事を言っている人が多い。例えば去年新型インフルエンザで亡くなった方の話とか、看護師さんにバファリン飲んで休んでろと言われてうちに死んでしまったとかという噂が流れている。直接聞いた訳ではないですが、この間、救急で知り合いの方の親お年寄りが熱を出して、どうしますかと電話したら連れて来いとのことなので連れて行ったら1時間ぐらい放置されたとか、その前後の対応も大変信じられなかったとかというような話しをよく

聞くんですよ。実際に自分で2回受診したことがあるのですが、やはり結構横柄な看護師達だなど思うことが多かったのですが、地元の人に言わせればこの建物のカラーだからとかという言い方をされたりもするのですが、そういうイメージが凄く強くて、自分の子供が休日に熱を出した時に連れて行った時にもやはりビシバシした感じだったんです。確かに看護師さんが少なく大変な仕事をして難儀だとは思いますが、何とかそんなに怒らなくてもいいだろうと、もう少し対応はないでしょうかと、そういう基本的なサービス業的な部分の基本的なところを、今度建物が新しくなるのであればそういうイメージを一新して、苦しい人もちょっとほっとするようなそういうような病院になれば患者さんもある程度戻ってきてくれるのではないかと思ったりもします。田沢湖病院ではあまりそういうことは感じないです。看護師さんに怒られたりしたこともないので。苦しくて行って何で怒られなければいけないんだと言って帰ってくる人達もいますので。そういったところを皆さん難儀してお仕事されていることだと思いますが、ちょっと心がけていただければいいのかなと思います。

#### 委員長

角館総合病院の事務長いかがですか。

#### 事務長（角館総合病院）

ただいまご指摘受けたことは投書の中にもあったりします。それと、一番最初のご意見の中でいわゆる1時間以上も放置されたという部分こういう話も結構ありました。議員さんにもそれを言われまして病院も調査しました。ところが、我々がわかっている範囲ではそういう事実はなかったと。ちゃんと医師が一回対処しているんですね。というような事実がありますので、意外とそういう悪いイメージで話されている部分が多いのかなと。1時間も2時間もほったらかすということはまずあり得ないと。ただそのところは病院の名誉に関わる部分もありますので、色々そういうのはありまして院内で調査した結果判明した部分があります。それはどうも話しをした人達が又聞き又聞きというかたちでという部分だと思います。それはたまたま議員さんからも言われて、調べてみたところ話した人に自分で確かめてみるということで、確かめたところどうもこちらから聞いてあちらから聞いて段々議員さんのところにきたら、もう2時間もほったらかしているという話しになったという事実もありますので、そういうことは院内で常に気をつけて、医局会という先生方が全部集まる会議が月に1回ありますが、この中で若い先生方にも全てこのようなことがないようにということでお願いはしています。それと看護師さんの件これはいつも言われることで非常に頭が痛いなど、看護部長等を中心にして看護師教育の部分の充実させないとだめですよということで、看護科の幹部の方々も色々な手を尽くしながらやっていますので、色々なお気付きの点がありましたらいつでも私どものほうへ話していただければ、注意して何とか良い病院にしたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

#### 委員長

他に何かないですか。

#### 委員

その1時間も2時間も待たせられるというのは時間外に行った場合じゃないでしょうか。時間外で急に悪くなった時は、やはり救急車で行くのが恥ずかしいということで自分の家の車で行くそうです。私の知っている人も去年行ったら、ちょっと前に救急車で行ったから次の時はまた救急車があそこの家に来たと言われるということが一番先に考えるそうです。近所に対して恥ずかしいということ。それで自分の家の車で行ったら、時間外だったから救急車で行ったほうが早く診ていただけるのだと、すぐ対応してくれるが、やはり自家用車で行ったのであればちょっと



そこに間があるのではないのでしょうか。ここまで来てくれるから大丈夫だろうという認識があるせいなのか、やはり待たせられるんだとは言っていました。だからこれは救急だなという時は遠慮しないで救急車を頼んで即診ていただくように、頭とかの場合は恥ずかしいと言って自家用車で行くよりは救急車でいったほうが対応が早いということでした。経験した人から聞いた話ですが、だからたぶん待たせられたというのは時間外で自家用車でいった人だと思いますね。

#### 委員

すいません私の言い方が悪くて。連れて行ってもらって先生に診てもらって、苦しいのにそれから横にしてくれるでもなく何をしてくれるでもなく待合室にずっと待たせられたということでした。先生は診てくれたけれども。その時に例えば注射する台の上にも横にしてあげればよかったのというような話をされていました。

#### 事務長（角館総合病院）

救急車を呼ぶのが隣近所に都合が悪いということで自家用車で来る場合はよくあります。でもその時は、本当に苦しくて大変な人の場合は訴えてもらえれば順番を狂わせて看護師なり医師が対応しますので、その時は遠慮しないで苦しいということを書いてもらえればと思います。そうしないとわからないでいる場合も十分ありますので、救急車で来れば一番間違いがないのですが。結構救急車をタクシー代わりに使う人もいるし、遠慮して使わない人もいるし、救急車で来て元気に自分で降りてくるというのも考えものですが結構そのような方はいます。消防署で統計をとっているのでも救急車で運ばれるうちの半分以上は本当に軽傷だというような感じです。

#### 委員長

他に何かないですか。

私から一つだけお願いと言うか聞きたいと思います。今角館総合病院で予約制を採っていますよね。ところが予約制であってもなかなか時間どおりに診察できないのが現状ですよね。これはやはりその日にとっさに来たり、あるいは車椅子で施設から来る方々が結構多かったんですよ。たまたま私も12月9日に11時からの診察予約で11時過ぎに終わったのですが、それ以前の人、予約でなくて待っている方々、それに加えて車椅子に乗ってくる方々、数えてみたら22台ぐらいあったようです。車椅子を押しながら患者さんが乗ってくるということなので非常に混雑した訳です。そうしたら待っているお客さんが色々小言を言っていたんですよ。ところがこうして見ていますと一番混む要因はもちろん患者さんが多いということも一つなのだが、会計のほうになかなか進まないようなんですよね。診察が5分くらいで終わっても会計が出てくるのに1時間ぐらいかかるのもあるようです。あれをもう少し会計のほうスムーズにいったら、先の方々が出ていくのもっと進むし混まないで騒ぐ方々も少なくなるのではないかなというような感じがしますが、そのあたりを何とか改善出来ないものでしょうか。

#### 事務長（角館総合病院）

会計が遅いというのは、もしかすれば検査の関係とか連動したりする場合がありますので何とも言えませんが、医事課によく確認して少しでも早くなるような方策を検討しますので、今日医事課長がおられませんのでどのようになっているかわかりませんが十分に検証させていただきます。

#### 委員長

2階のほうに基本票が出る場所がありますよね。会計は案外とスムーズに行きますが、問題は2階で診察した分が出てくるのが遅いんですよ。あそこに2人いると思いますがみんなそこに何回か行って顔を出している。

事務長（角館総合病院）

わかりました。その件は確認しておきます。

委員長

基本票が計算出来た段階で会計が立って歩かないで、出来た伝票をまとめたなかで看護師さんが渡すともっとスムーズに行くのではないかという感じがする。いずれこれから改築するなり、あるいは事業管理者が来るようですので、患者さんがあんまり小言を言わないような良い病院づくりをしていただければいいと思います。たまたまそういうことを言われましたので参考までに言うておきます。

事務長（角館総合病院）

わかりました。確認しておきます。

委員長

他に何かありますか。

委員

新しく角館総合病院を建てるということですが、場所とかは決まっているものなのでしょうか。

事務長（角館総合病院）

まだ決まっていません。これからです。

委員

全然全くどこら辺とかというのも決まってないのですか。

委員

これから場所を検討するのですが、同じところに建てるにしても別の場所に建てるにしてもお願いしたいのは交通の便と駐車場ですね。仙北組合病院に行っても有料だしあちこちに散らばっていて使い勝手が悪いのですが、病院に入りやすいようなかたちで、また、かつ安全性というか、色々注文を付けて申し訳ないですが、駐車場を便の良いようなかたちにさせていただきたいと思います。今も結構一杯一杯で時間帯によっては場所を探さないと入れないような時もあったりします。

事務長（角館総合病院）

この3月に病院新築の基本構想が出来上がりまして、それは議員の方々には配布していますが、そのなかで病院の大きさは約3.5ヘクタール（3町5反歩）となっており、十分に駐車場も全部とってというかたちに計画していますので、新しい病院の場合はそういう敷地を見つけて建築にかかるということですので十分駐車場への配慮もしています。ただまだ場所的なことはこれからですということです。実は基本構想では平成28年度の開院ということにしていました。ところが先程市長からも話しがあったとおり、前倒して仙北組合病院と同じぐらいの時期に建築したいということを今回の定例議会で市長が表明しましたので、2年ぐらい早まってしまったという状況なので、これから急ピッチで物事が進んでいくということですのでどうかひとつよろしくお願ひします。

委員

新しい病院になると駐車場は料金有料になるかと思いますが、今までは無料だったので、家の孫が小学校1年の時に交通事故で入院して、小さいものだから24時間体制で誰か付いてなければいけなくて、共稼ぎだったもので私達祖父母が行っているのですが、代わる代わる行くものですから車で行けば角館の駐車場はタダだったから本当に助かったと思いました。でも今度有料になればそういう人がこれからも多いと思いますが、入院患者の付添なんかの時は割引になるようなことも検討していただければと思います。

事務長（角館総合病院）

まだ有料にするとか無料にするとかは決めていません。

委員

たぶん新しくなればどこの病院も駐車場有料ですから。

委員

でも日赤とかは無料なので出来れば無料にしてもらえれば行きやすくなると思います。

委員

置くところが大変だったけれども無料で本当に助かったと思いました。

委員

大曲の仙北組合病院さんの場合は大曲で一番高い土地に建っているので駐車料金とかもあると思うのですが、例えばそこら辺の田んぼだとすれば・・・金にかかることですがけれどもね。

事務長（角館総合病院）

だいたい自治体病院の駐車場は無料ではないかと思います。県南でいくと大森、羽後、横手があるのですが。

委員

新しくなった時に先程交通の便と言いましたが、今スマイルバスとかも回っていると思うのですがそちらのほうも継続してやられるものでしょうか。

事務長（角館総合病院）

どこに建つかはまだわからないですが、当然そういうバスの巡回をしてもらうような方法とか市のほうにお願いしていくと思います。今現在も病院の前まで来てもらっていますので。

委員

先程どうして場所のことを聞いたかと言うと、角館からもし離れたりするのであればそこにシャトルバスみたいなものを出して欲しいという意見もあったので、それで聞いていたのですが。

事務長（角館総合病院）

その事は十分検討委員会のほうにお話ししておきます。

委員長

他に皆さんのほうから何かないですか。

## 委員

医療局のことでなのですが、人事がこれから検討されるかと思いますが、基本的には角館総合病院のほうの先程説明のあった事務局の方からのみの異動でなされるのでしょうか。それともプラス一般の市役所職員からも何人が配属されるものですか。人数的な部分と。

## 事務局（政策推進課）

今の人事の件でお答えさせていただきます。実は今皆さんに検証してもらっている推進計画というのは、平成25年度まで一応の目途を付けたいという目標で立てている訳です。それで医療局というのは当然病院事業の組織に入ってくる訳で、そこによそから人が来ると人件費だけがかさんで、いわゆる職員の給与費がぐんと上がってしまうと経営的には悪くなるというようなことが考えられます。そういうことで医療局には今現在私どもが所属しておる総務部政策推進課の病院医療改革推進班というところと病院と合体して、管理者については病院事業から支出せざるを得ないのですが、医療局のスタッフについては病院に迷惑をかけない方法で一般会計の職員の身分で来たかどうかということで議論されています。ですから仕事は病院のことをやるのですが職員の身分としては一般会計職員の身分になるというふうに解釈していただければありがたいと思います。ただしこれはあくまでも角館総合病院が出来るまでの当面の措置でありまして、いずれ角館総合病院が新しい病院になる時には、医療局はその中に入って角館総合病院と統合してやるのが望ましい姿ではないかということで今検討して1月から動くところです。よろしくお願います。

## 委員長

よろしいですか。他に何かありますか。なければそろそろ終わりにしたいと思いますので。

## 委員

数字を見ればすごく努力されているように見えますので何とか頑張ってください。以上です。

## 委員長

他にありませんか。

今日も委員会のほうから色々なご意見を頂戴いたしました。本当にありがとうございました。最初に門脇市長が申したように来年の4月から長野県の飯田市から宮川先生が来られるようです。どうかひとつ、この先生は力のある方ですので今の検証委員会で持ち上げた医師不足も含めた対策を十分検討されて、我々が安心して受診出来るような病院に仕上げていただくということを申しあげておきたいと思えます。その他はありませんよね。では終わりたいと思えます。

今日はお忙しのなかご出席を賜り、しかも貴重なご意見をいただきました。本当にありがとうございます。この後、年とりということで12月も超す訳であります。寒さも増してくる訳であります。どうか十分に身体には気を付けながら良い年が迎えられるように皆さんと共に祈り申し上げたいと思えます。今日はどうも本当にありがとうございました。

## 事務局（政策推進課）

最後に事務局からお願いしたいことですが、皆様には2年間の任期ということで今日を合わせて都合3回の委員会ということで参加いただきまして本当にありがとうございました。来年の3月31日で任期が切れるということですが、事務局で考えていますのは出来れば引き続きお願いしたいと考えておりますが、これは追って検討したなかで改めて連絡させてもらいたいと思えますので、その時はどうかよろしくお願いします。今後の通知関係は今までは総務部政策推進課ということで行なっていましたが、今後は医療局という名称で行くと思えます。顔ぶれはどのよう

になるかそれはわかりませんが、何かとよろしくお願ひしたいと思ひます。それではこれで終わりたいと思ひます。本当にありがとうございました。

(終了 14 : 50)